



HDR | Image Analyzer

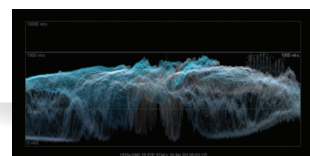
HDR向けの波形、ヒストグラム、ベクトルスコープモニタリング

HDR Image Analyzerは、HLG、PQ、Rec.2020を含む最新のHDR規格を効果的に分析する包括的なツールを提供します。4系統の3G-SDI入力経由で、4K/UltraHD/2K/HDコンテンツをリアルタイムに扱える便利な1RUのデバイスです。

Colorfront®社との協業により開発されたAJA HDR Image Analyzerは、様々なカメラのLogフォーマットから、SDR(REC 709)、PQ(ST 2084)、HLGなどの入力に対応できます。BT.2020や従来のBT.709の色域にも対応しています。

あらゆる状況で使用するために特別に設計された1RUのフォームファクターは、様々な環境に適応します。HDR制作やマスタリングに求められる、安定性や予測可能性を提供します。

HDR



幅広い入力サポート

Logフォーマット、HDR、SDR

AJAのHDR Image Analyzerの入力は、ハイダイナミックレンジ(HDR)や高色域(WCG)の様々なフォーマットとルックに対応しています。

[カメラLog対応]

- ARRI® • Canon® • Panasonic®
- RED® • Sony®

[ダイナミックレンジ入力]

- SDR(REC 709)
- PQ(ST 2084) • HLG

[色域]

- BT.2020 • BT.709

[3G-SDI 対応]

- 4系統の3G-SDI入力で、最大4K/UltraHD60pに対応
- SDI自動信号検出

柔軟なモニタリングと分析

ラックマウント可能な1RUデバイス

AJAのHDR Image Analyzerはあらゆる環境に適応するために、特別に設計されました。耐久性と信頼性を備えたフォームファクターは、最大4K/UltraHD 60pでの入力とバススルーに対応し、4系統の3G-SDIを搭載しています。

- ライブプロダクション
- DITパイプライン
- 放送用モニタリング
- ポストプロダクション
- 様々な環境で必要とされるQC(クオリティコントロール)
- 最終的なHDRマスタリング

主な機能

モニタリング、分析、結果の記録

AJA HDR Image Analyzerは、本来の解像度で映像を表示できる、高品質で非常に正確なUltraHDユーザーインターフェイスを備えた製品で、以下の分析ツールが最大限に活用されています。

- 波形
- ヒストグラム
- ベクトルスコープ
- 色域
- Nit明暗レベル
- ファイルベースのエラー
- タイムコード付きのログ
- 高度なPixel Pickerを搭載したデータ分析
- 誤差許容範囲での色域外と輝度範囲外を検出